



ふくしまから はじめよう。若い力による風評対策提案事業

NEWS レター -Vol.7-

福島県

平成27年2月
福島県農林水産部

各団体のイベント情報や取り組みを紹介

福島県は、原子力災害に伴う福島県産農林水産物に対する風評を払拭し、消費や販路の拡大を図ることを目的に「ふくしまから はじめよう。若い力による風評対策提案事業」を実施しています。

本事業では、9団体と委託契約を締結し、斬新な企画に基づく様々な活動を全国各地で展開しています。2015年2月に開催する各団体のイベント情報や取り組みについて、お知らせします。

ピックアップ！

「特定非営利活動法人 フロンティア南相馬」

～「全国ご当地ヒーロー料理バトル」を沖縄県で開催～

福島県の農林水産物の魅力を伝え、風評払拭を図るために、福島のご当地ヒーローが全国各地のご当地ヒーローと料理で対決する「全国ご当地ヒーロー料理バトル」を開催しています。料理対決では、福島の食材と、対決するご当地の食材をテーマに対決するため、2つの食材を組み合わせた新しい料理が生まれるところも見所です。今後、下記のとおりイベントを開催します。



1月12日(月・祝)に開催した「第3回全国ご当地ヒーロー料理バトルin埼玉」の様子

「第5回全国ご当地ヒーロー料理バトルin沖縄」

福島県のご当地ヒーロー「相双神旗ディネード」と那覇市のご当地ヒーロー「美ら結いシンカ ムムヌチハンター」が料理対決。

■日時：2月21日(土)＜開場＞17:00＜開始＞17:30

■場所：てんぶす館調理室(沖縄県那覇市牧志3-2-10)

「ふくしまヒーローズダイニング～THE FINAL MISSION～」

福島県4ヒーローが沖縄県那覇市に集結。「国際通り」で福島の美味しい食材を用いた料理を提供します。

■日時：2月22日(日)＜開始＞11:00

■場所：さいおんスクエア牧志駅前交通広場(沖縄県那覇市安里2-1)

「第6回全国ご当地ヒーロー料理バトルin沖縄～最終決戦、最強vs至強」

福島県随一の人気を誇る白河の英雄「ダルライザー」と沖縄県のご当地ヒーロー「琉神マブヤー」が料理対決。

■日時：2月24日(火)＜開場＞15:30 ＜開始＞16:00

■場所：てんぶす館調理室(沖縄県那覇市牧志3-2-10)

2月のイベント情報

「特定非営利活動法人 福島県自然体験合校協会」 ～ふくしま食材フェア「福島×HYATTコラボレーションビュッフェ」を開催～

福島県福島市の「グランド ハイアット 福岡」において、福島の食材を使用した特別メニューをビュッフェスタイルで提供します。料理へのこだわりが高い「HYATT」で、ふくしまの食材のみを使用したビュッフェを開催し、福島県産食材の美味しさのアピールはもちろん、食の安全においても強いメッセージを発信します。

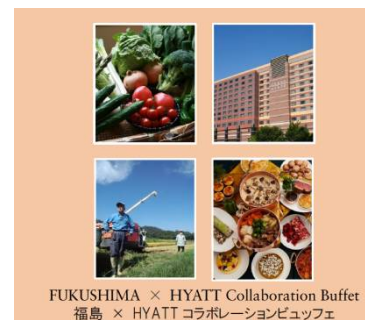
■日時：2月20日(金)～24日(火)17:30～21:00 (ラストオーダー)

■場所：「グランド ハイアット 福岡」1F レストラン「アロマーズ」
(福岡県福岡市博多区住吉1-2-82)

■料金：大人 ¥3,500円、6～12歳 ¥1,800円

※サービス料込み。消費税別途。飲み放題は90分でプラス¥1,500円

■内容：福島牛のローストビーフと会津産豚のバーベキューソース、
川俣軍鶏のスープ、会津継承米氏郷の焼きリゾットほか



「特定非営利活動法人 福島インターネットテレビジョン」 ～「第5回セカイメシクッキングイベント in 福島」を開催～

会津大学の学生と留学生が中心となって、美味しい福島食材を用いて“セカイメシ＝世界の家庭料理”のレシピを開発し、その魅力を世界に発信するプロジェクトを行っています。最終回となる今回は、会津大学生と福島大学生が協力し、参加者等との交流により、福島県産品の美味しい活用法や魅力を伝えていきます。

■日時：2月21日(土)＜調理見学＞12:00～
＜試食会＞13:00～14:30

■場所：福島市アクティブシニアセンター「アオウゼ」調理実習室
(福島市曾根田町1-18 MAXふくしま4階)

■参加者：数量限定で先着順(予約不要)

■参加費：無料

■関連サイト：<http://www.facebook.com/sekaimeshi>
<http://sekaimeshi.jp/>

■お問い合わせ：NPO法人福島インターネットテレビジョン事務局
TEL:0242-85-8661



1月18日(日)に開催した「第4回セカイメシクッキングイベントin日本橋」の様子

「ineいわき農商工連携の会」

～「福食！いわき野菜中華＆福食だよりPR in 日本橋ふくしま館MIDETTE」開催～

「地産旬味福食メニュープロジェクト」として、シェフと生産者加工者等の連携による福島県産食材を使用したレシピ「福食レシピ」の開発・紹介、生産現場の視察ツアー、親子料理教室など、様々な取り組みを行ってきました。

今回のイベントでは、「福食レシピ」開発を担当した華正樓の吉野康平シェフとファーム白石の白石長利さんが中心となり、いわき野菜中華プレートを飲食ブースで提供(有料)するほか、「福食メニュープロジェクト」で取り上げた食材や調味料などの試食配布や販売なども予定しています。また、「福食メニュープロジェクト」の取り組みをまとめた「福食だより」の配布も行います。

■日時：2月25日(水)11:00～完売まで（閉館20:00）

■場所：日本橋ふくしま館 MIDETTE

（東京都中央区日本橋室町4-3-16柳屋太洋ビル1F）



シェフと生産者の連携により開発した
「福食レシピ」全20品目

ふくしまから はじめよう。若い力による風評対策提案事業 概要

<事業概要>

- 委託事業名 ふくしまから はじめよう。若い力による風評対策提案事業
 - 委託料 1団体8,000,000円(消費税及び地方消費税含む)を上限。
 - 募集团体
 - ・大学生、短期大学生を主たる構成員とする団体
 - ・特定非営利活動法人(NPO法人)
 - ・農林漁業者を主たる構成員とする団体
 - ・商工業者を主たる構成員とする団体
- ※なお、福島県外に主たる事務所を置く団体等にあたっては、
県内の団体等の共同提案とする。
- 委託契約期間 平成27年2月28日まで
 - 公式ホームページ <http://www.wakaichikara.jp/>

<選定団体>

No.	団体名	事業名	事業内容
1	福島県旅館ホテル生活衛生同業組合青年部	ふくしま 朝ごはんプロジェクト	「宿の朝ごはん」は郷土が育む元気の源というコンセプトのもと、福島県内の農林水産物生産者と旅館業界がコラボし、この提案事業を通して、福島県産「食」の安全・安心と美味しさをアピールするとともに、新たに県内の農林水産物や観光業、行政の連携した情報や商品提供のシステムを構築したいと思っています。
2	土湯温泉ふくしまディステーション推進会議	～ふくしまの小さな温泉地 土湯温泉の若旦那の挑戦！ふくしまの食の安全安心を世界に発信しふくしまの観光振興に繋げる～「つちゆ à la food ふくしま」	アラフドとは、新雪を踏み固めて道筋をつくるという土湯温泉の方言。観光地としての特色を活かし、ふくしまを訪れる宿泊者の方々に、安全・安心な食材を提供することで、ふくしまを理解して頂き、又、首都圏で食の安全・安心を発信し、現在のふくしまの本当の姿を伝えることが、風評払拭につながるものと考え行動します。
3	特定非営利活動法人 福島県自然体験合校協会	福島応援の風を西から。東北へ吹く西風の軌跡は日本全土。	福島県の美味しい地元農産物を全国へ発信し、未だに懸念される風評を吹き飛ばすために、3つの大きな柱で活動します。①吉本興業との連携 ②東京FMとの連携③お裾分けプロジェクトとの連携。以上の柱をもとに、全国区の知名度とネットワークを大いに発揮し、日本全国に発信します。
4	特定非営利活動法人 福島インターネットテレビジョン	World meets Fukushima ～福島産のセカイメシ～	福島県で採れる農林水産物は非常に多く、日本の食を担う中心地でもあります。この福島県の農林水産物を用いて、世界各国の料理を作ると本当においしいのです！ 私たちのプロジェクトでは、世界各国の料理レシピを福島県産品を原材料として作ることを提案し、おいしい福島産『セカイメシ』を福島から世界へと発信します。
5	特定非営利活動法人 フロンティア南相馬	全国ご当地ヒーロー料理バトル！～福のしまへー食足発～	福島県内で活躍する4人のご当地ヒーローが、福島県産品を持って全国を駆け巡る！全国各地のご当地ヒーローと福島県産品を使ったレシピで料理バトル！訪問先の食材や名物料理ともコラボする、新しいレシピを開発するヒーロー達・・・果たして彼らは、風評を倒し食で繋がる福島を紡ぎ上げる事が出来るのか？
6	特定非営利活動法人 TATAKIAGE Japan	福島県産ライスバーガー“こめて” 販路開拓プロジェクト	福島県産のお米を使ったライスバーガー“こめて”の製品開発・販路開拓を行います。私達は、福島県の農産物の風評払拭のため、「可哀そうだから買う」ではなく「美味しいから買う」をコンセプトに、生産者の方々の想いをこめて、国内更には海外へと“こめて”を販売し、その美味しさを広めて参ります。
7	inelいわき農商工連携の会	地産旬味 福食MENUプロジェクト	福島県産食材・素材の風評対策と魅力創出を行います。シェフと生産者加工者等の連携を推進し、県産食材を積極的に使うシェフを増やし、開発メニューを増やすことで、消費者ニーズを創出します。同時に子どもたちへの食育の機会をつくり、食育情報発信と食育教材テキスト化も同時に行うことで親子等へ伝え、福島っ子の元気な体づくりへつなげます。
8	特定非営利活動法人 Power of JAPAN	ふくしまから はじめよう。ふくしまから つなげよう。	当プロジェクトは、福島県の生産者や県外・県内消費者及び加工事業者等のみなさんが「福島県産の食でつながるプロジェクト」です。貨物列車でのイベント、料理専門誌との連携で福島県産の食を広くPRし、1人でも多くのみなさまに福島県の魅力を伝えていきます。
9	ふくしま食文化探検隊	食べた分だけ伝えたい ふくしまベジ食べ×RUプロジェクト	社会心理学の知見を生かし、「1人が身近な2人に伝える」をテーマに展開します。福島県内のNPO法人と連携し、福島県産の食材を身近に感じてもらう企画や、福島県を実際に訪問して体験した福島県の魅力を発信していきます。肌で感じた福島県の魅力を「伝える」ことで、関西から風評の払拭に貢献します。